

ダムカードを活用した 鬼怒川上流ダム群の魅力発信



日光市
国土交通省関東地方整備局
鬼怒川ダム統合管理事務所

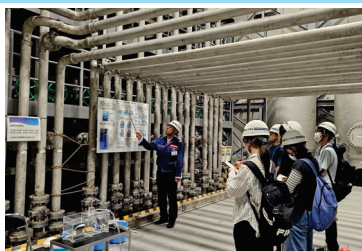
1班 コミュニティデザイン学科 加藤昂志 八神蒼河 稲葉桜空
建築都市デザイン学科 古沢海音
社会基盤デザイン学科 谷田部彩希 森聖真
グループ指導教員 清木隆文

01. 背景

鬼怒川上流ダム群は、鬼怒川流域の利水、治水を行い、人々の生活の安全安心を守る役割がある。しかし、「ダム」という人々の暮らしには欠かせないインフラの重要性が理解されていないという課題がある。実際にダムを訪れ、ダムの役割、魅力を知ってもらう必要がある。

02. 現地訪問

(訪問日時：2025/5/20)



↑湯西川ダム見学の様子

①学び

- ダムカードを収集するファンは一定数おり、ダムにも足を運ぶ
- 鬼怒川ダム4姉妹がいる

②得られた課題

- ダムがある地域を観光する人が少ない

- 湯西川ダム、五十里ダム、川治ダム、川治温泉街に実際に赴き、実情を知る
- 国土交通省の方からダム群の魅力発信の現状について伺う

鬼怒川ダム4姉妹とは？
水源地域ビジョンの中で
ダムのブランド化を
手伝えるために登場した。

03. 目的

昨年度までは「来訪」をテーマに活動してきた。

2023年度

- 川治ダム×川治温泉謎解きへの招待状
「川治ダム資料館」及び「川治ふれあい公園」にて謎解きイベント

2024年度

- 小学生×自由研究×大学生
夏休みの自由研究に焦点を当てて、ダムの役割や構造、周辺の環境を学ぶプログラム

イベントという方法のため、効果が一時的で持続性が低い。



サステナブルな、ダムの魅力発信

具体的には、日常的にダムに関心を持ってもらうために、子供向けの遊び道具として**ダムカードゲームを開発**した。

ダムカードゲームのルール

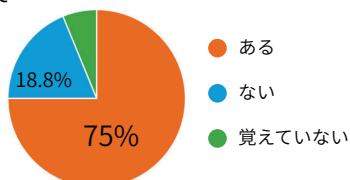
- ① 自分のダムを決める。
- ② クイズカードを1枚引く。
- ③ 4つのダムから答えになるカードを選び、場に出す。
- ④ もし、クイズの答えが分からない場合マジックカードを使用できる。
- ⑤ 正解者には1ポイントが入る。
- ⑥ 先に5ポイント獲得した人の勝利。

04. 調査方法

(調査実施日時：2025/8/22、10/28)

- ① **ダムに対する意識調査** 小学生33人にアンケート 質問と回答例（一部抜粋）
Q.ダムについて知っていること Q.ダムに行ったことはある？

- 川から水を貯めるところ 21人
- 水を貯めて施設に送る 8人
- 水を貯めて管理する 4人



②ダムカードゲームのテストプレイ

小学生を対象にした、ダムカードゲームのテストプレイを実施した。また、ゲーム後にアンケートをとり、理解度を確認した。



↑ダムカードゲームで使用するカード



05. 分析結果

アンケートの結果から分かったこと&テストプレイ時に得られた意見

- ダムについての知識を持っている児童が多い
- ダムに興味を持ってくれた
- ダムカードは小学生が理解を深めるのに効果的だった
- 鬼怒川ダム4姉妹は印象づけに効果があった
- ダムを訪れた経験のある児童は少数だった
- ダムカードだけでは、ダム以外の周辺地域を知ることが難しい

ダムに関する知識は、学校教育などを通じて広く浸透しているが、「ダムに行ってみよう！」と思わせるアプローチが不足している！！

06. 提案

【Ⅰ. ダムカードゲーム】

Ⅰ-① イベントでのカードゲームのブース出店

対象：ダムをあまりよく知らない人
毎年行われる、利根川水系連合・総合水防演習ダムの働きを学ぶとともに、カードゲームでより実践的な知識を身につけることができる。
→ダムの知名度、理解度の向上につながる。

Ⅰ-② カードゲームに用いる模型や ルール説明用紙のデジタル化

手軽にダムについて学ぶことができる。

Ⅰ-③ ダム見学ツアー

対象：親子、家族連れ
コンテンツの1つとして、ダムカードゲームを組み込むことで、内容の充実を図る。
宇都宮市発着のバスツアーにすることで、ダムへのアクセス難を解消することができる。



【Ⅱ. 鬼怒川ダム4姉妹】

より前面に出したPR方法を取り入れる。
・日光市のお土産や地域産業とのコラボ

**既存のダムカードと
鬼怒川ダム4姉妹を有効活用して、
持続的に
ダムの魅力を発信する！**